

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちが取り組む6つの重要テーマ

- 1 安全・安心の追求
- 2 豊かなまちづくり
- 3 未来へつなげる暮らしの提案
- 4 一人ひとりの活躍
- 5 環境保全の推進
- 6 ガバナンスの充実

PICK UP 重要テーマ⑤ 環境保全の推進

環境にやさしい球場を目指して

阪神甲子園球場では、環境に配慮したさまざまな取組を推進しています。

内野スタンド全体を覆う銀傘の上には、太陽光発電パネルを設置。その発電電力量は年間約19.3万kwhに上り、阪神タイガースが1年間に同球場で行うナイトゲームで使用する照明の電力量に相当します。また、2021年のシーズンオフ期間中には、球場のナイター照明756台をLED照明に切り替える予定で、エネルギー効率をさらに高めてまいります。

このほか、生ビールなどの販売に使用しているプラスチックカップについては、できる限り回収に努め、ビアカップホルダーなどにリサイクルしています。また、球場内で販売する商品の容器・包材については、昨年より、プラスチック製品から紙などのバイオマス製品へ、順次切替を進めています。



LED照明切替後のイメージ



プラスチックカップを回収

ビアカップホルダーなどにリサイクル



担当者の声

阪神電気鉄道
甲子園事業部
あかさ かつじ
赤楚 勝司

阪神甲子園球場は2024年に100周年を迎えますが、これからの時代は環境にやさしい球場づくりが一層重要になってきます。具体的には、球場全体の消費電力量の削減を図ることはもとより、飲食・物販における脱プラスチックへの取組や食品ロスの抑制、またお客様に協力をお願いするなど、さまざまな施策が必要となりますので、球場関係者が一丸となって環境保全の推進に取り組んでまいります。





代表取締役会長 グループCEO
角 和夫

代表取締役社長
杉山 健博

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第2四半期決算等の概要

2021年度第2四半期の連結業績につきましては、多くの事業で新型コロナウイルスの影響が大きく残るものの、同影響をより大きく受けた前年同期比では、各事業において一定の回復がみられたこと等により、営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、下のグラフのとおり、いずれも前年同期に比べ増加いたしました。

また、通期の業績予想も、多くの事業において前年同期からの回復を見込むこと等により、下のグラフのとおり、2020年度に比べ相応に改善する見通しです。

2021年度の取組

2021年度については、新型コロナウイルスの影響からできる限り早期に回復すべく、全力を尽くす期間として「緊急回復期間」と位置づけており、各事業で

収支構造の強靱化を進めております。また、投資面では、現在進捗中の大規模プロジェクトをはじめ成長投資については継続していきますが、維持更新投資を引き続き抑制することで、財務体質の悪化を最小限に留めてまいります。

なお、この上半期には、「神戸三宮阪急ビル」(神戸市中央区)が開業したほか、大型物流施設「ロジスタ・ロジクロス茨木彩都」(大阪府茨木市)が竣工しました。また、2022年春の全体竣工に向けて進捗中の「梅田1丁目1番地計画(ビル名称:大阪梅田ツインタワーズ・サウス)」では、百貨店ゾーンが竣工し、10月から新しい阪神百貨店(阪神梅田本店)が営業を開始しております。

ニューノーマル時代を見据えて

上記の取組と並行して、コロナ禍をきっかけに加速している事業環境の変化(ニューノーマル時代の到来)を見据え、それに必要な取組も着実に進めております。今後も、DX(デジタル・トランスフォーメーション)への取組に注力して、収益力の向上と業務の

効率化をできる限りスピーディーに推し進めてまいります。

また、現在、2017年に策定した「長期ビジョン2025」のアップデートに取り組んでおりますが、来年の春には、2030年頃の当社グループの絵姿を公表する予定です。

配当の実施

株主の皆様への利益還元につきましては、安定的な配当を維持することとしており、2021年度の年間配当金は、前期と同様に、1株当たり50円を予定しております。そして、この方針に基づき、このたび1株当たり25円の間配当を実施いたしました。

これからも、まだしばらくは厳しい事業環境が続くと思料されますが、株主の皆様のご期待にできる限り応えられるよう、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年度 第2四半期決算 連結業績ハイライト

営業収益



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産・純資産・自己資本比率



セグメント別の概況

(単位:億円)

セグメント	2021年度 第2四半期累計	前年同期比	概要
都市交通			新型コロナウイルスの影響(緊急事態宣言等の発令に伴う外出自粛等)が大きく残るものの、同影響をより大きく受けた前年同期比では、鉄道事業・自動車事業ともに旅客数に一定の回復がみられたこと等により、増収・増益
営業収益	765	+42	
営業利益	△3	+67	
不動産			賃貸事業において新型コロナウイルスの影響(緊急事態宣言の発令に伴う商業施設の一時休館等)が残るものの、賃料収入が同影響を大きく受けた前年同期比では増加したほか、分譲事業においてマンション分譲戸数が前年同期を上回ったこと等により、増収・増益
営業収益	933	+128	
営業利益	143	+11	
エンタテインメント			新型コロナウイルスの影響(緊急事態宣言の発令に伴うイベントの開催制限措置等)が残るものの、多くの興行が延期もしくは中止となった前年同期比では、スポーツ事業における阪神タイガースの公式戦主催試合数やステージ事業における宝塚歌劇の公演回数が増加したこと等により、増収・増益
営業収益	344	+196	
営業利益	81	+107	
情報・通信			放送・通信事業において連結子会社が増加したこと等により増収となったものの、情報サービス事業において前年同期に交通システム分野で大型案件を受注していた影響等により減益
営業収益	273	+10	
営業利益	20	△2	
旅行			新型コロナウイルスの影響(海外ツアーの催行中止等)が大きく残るものの、収益認識基準の適用により収益増となったほか、諸費用が減少したこと等により、増収・増益
営業収益	82	+73	
営業利益	△84	+10	
国際輸送			新型コロナウイルスの影響からの回復により、貨物の取扱が増加したことに加え、航空・海上輸送とも需給が逼迫していること等により、増収・増益
営業収益	604	+231	
営業利益	33	+29	
ホテル			新型コロナウイルスの影響(緊急事態宣言の発令に伴う一部ホテルの一時休館等)が大きく残るものの、同影響をより大きく受けた前年同期比では、宿泊部門・料飲部門ともに利用者数に一定の回復がみられたこと等により、増収・増益
営業収益	92	+22	
営業利益	△69	+31	

2021年度 通期業績予想

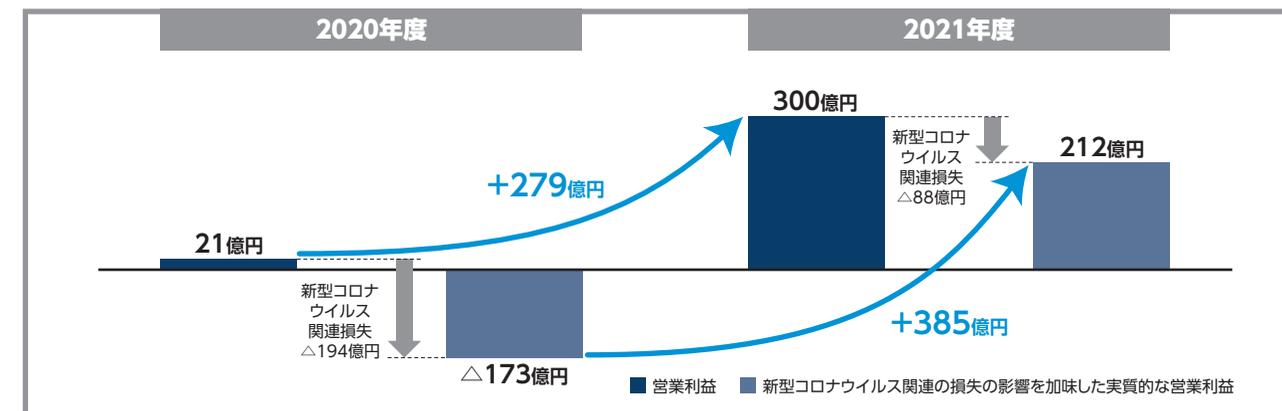
当社グループでは、去る7月に下表のとおり通期業績予想を見直し、発表しましたが、今般、第2四半期決算を踏まえて、改めてその見直しを行いました。

今回予想では、8月・9月の緊急事態宣言等の影響を受け、旅行事業、不動産事業、都市交通事業等が前回予想を下回ることにより、営業収益は減収を見込むものの、国際輸送事業、エンタテインメント事業が前回予想に比べ増収・増益となるほか、ホテル事業において損益の改善を見込むことにより、営業利益は7月発表予想どおりとしています。

	2021年度 5月発表予想	2021年度 7月発表予想 (前回予想)	2021年度 10月発表予想 (今回予想)	2020年度実績 (ご参考)
営業収益	8,000億円	7,700億円	7,400億円	5,689億円
営業利益	230億円	300億円	300億円	21億円
経常利益	160億円	230億円	250億円	△76億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	60億円	120億円	120億円	△367億円

なお、2020年度実績との比較では、多くの事業で新型コロナウイルスの影響から一定の回復を見込むこと等により、2021年度の営業利益は+279億円の増益となる見込みです。ただ、下図のとおり、新型コロナウイルス関連の損失*を特別損失に計上している影響を加味しますと、2020年度から2021年度にかけての実質的な増益額は+385億円となります。

*新型コロナウイルス関連の損失：営業停止期間中の固定費や、イベントの開催中止に伴う費用等



梅田1丁目1番地計画(ビル名称:大阪梅田ツインタワーズ・サウス)の百貨店ゾーンが竣工

当社グループでは、2014年10月から大規模開発プロジェクト「梅田1丁目1番地計画(ビル名称:大阪梅田ツインタワーズ・サウス)」に着手し、大阪神ビルディングと新阪急ビルの一體的な建替を進めてきました。工事は、I期棟(東側)とII期棟(西側)に分けて行っており、このうちI期棟は2018年4月に竣工し、同年6月に阪神百貨店(阪神梅田本店)が部分開業しました。そして、今般、II期棟の百貨店ゾーンが本年9月に竣工し、10月から阪神梅田本店がI期棟部分を含め同ゾーン全体で営業を開始しております(一部の売場を除く)。

本ビルは、右ページのとおり、百貨店ゾーンのほか、オフィスゾーンと、大小2つのホールを備えるカンファレンスゾーンの3つのゾーンから構成されており、今後も引き続き、2022年春の全体竣工に向けて、工事を予定どおり進捗させていくのはもちろんのこと、オフィスリーシング等の営業活動にも注力してまいります。

また、本ビルの開発にあたっては、周辺公共施設の整備も一体で進めており、例えば地下・地上・デッキレベルの3層で歩行者ネットワークを構築するほか、本敷地周辺のバリアフリー化等も推進しています。これらにより、街の回遊性を高め、魅力あるまちづくりに貢献していきます。



ビル外観

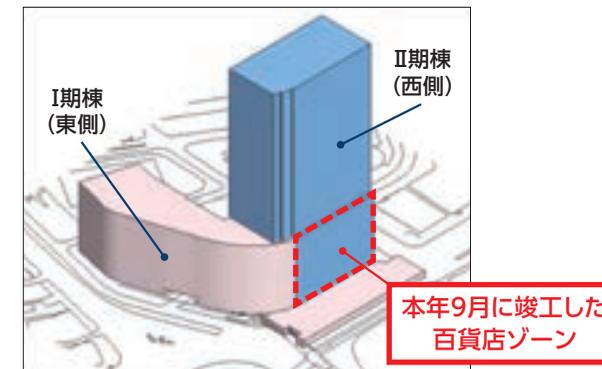


拡幅整備が完了した東西地下道(阪神百貨店北側)

位置図



工事区分イメージ



本年10月からI期棟部分を含め同ゾーン全体で営業を開始

阪神梅田本店では、「毎日が幸せになる百貨店」をストアコンセプトに、全く新しい食体験を提供する大型イベントスペース「食祭テラス」をはじめ、「食の阪神」として培ってきた同店の強みを活かした店づくりを目指しています。



食祭テラス



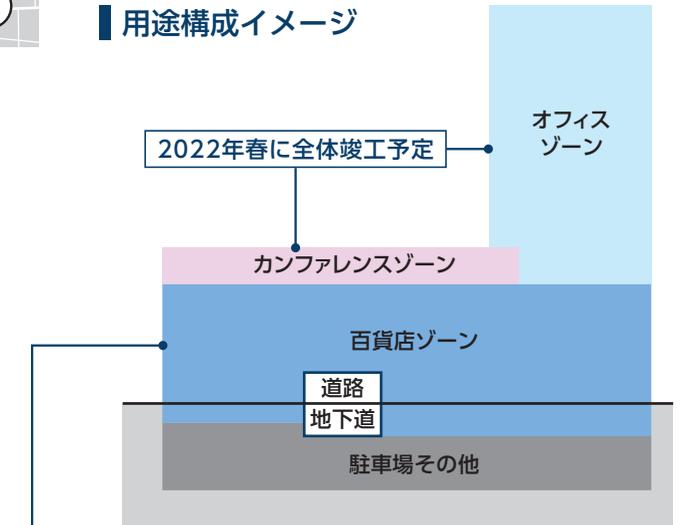
多くの人で賑わう様子

計画概要

所在地	大阪市北区梅田1丁目1番ほか
敷地面積	約 12,200㎡*
延床面積	約260,000㎡
規模	地上38階、地下3階
用途	百貨店、オフィス、ホールなど
竣工時期	2022年春

*大阪神ビルディング・新阪急ビル間の道路を含む

用途構成イメージ



北大阪急行線の延伸事業が進捗中

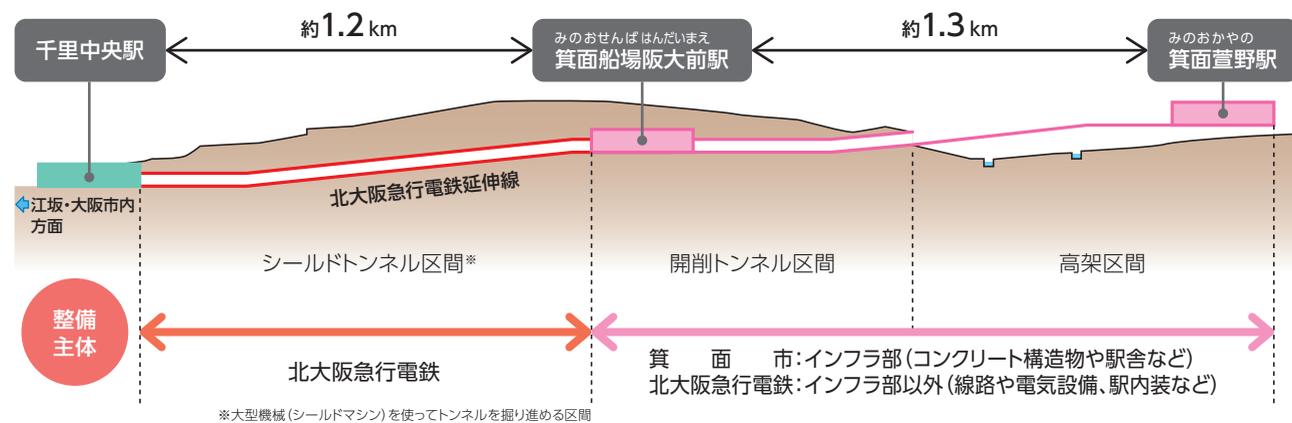
北大阪急行電鉄は、2016年度より、箕面市とともに、北大阪急行線を現在の終端駅である千里中央駅から北へ約2.5km延伸する事業を進めており、2023年度の開業を目指しています。

延伸区間には、新たに箕面船場阪大前駅と箕面萱野駅の2駅が設置されることになっており、現在、工事は、下図のとおり「千里中央駅～箕面船場阪大前駅間のシールドトンネル区間」と「箕面船場阪大前駅～箕面萱野駅間のインフラ部以外」は北大阪急行電鉄が、「箕面船場阪大前駅～箕面萱野駅間のインフラ部」は箕面市が整備主体となって、

それぞれ推進しているところです。

本年4月には、箕面船場阪大前駅周辺に大阪大学箕面キャンパスが開校し、その後、図書館や生涯学習センター、劇場等が一体となった複合公共施設が順次オープンしました。また、箕面萱野駅周辺では、2023年度に、駅ビルや高架下店舗等ができる予定です。

この延伸線が完成すれば、大阪の南北動線がますます強化され、利便性も一層向上しますので、これまで以上に定住人口や交流人口の増大が進むものと期待しています。



トンネルを掘削するシールドマシン



工事中のシールドトンネル内



工事中の箕面萱野駅

阪神武庫川線沿線の活性化に向けた取組

武庫川団地前駅に商業施設「ムコダンモール」が開業

武庫川団地前駅の駅前の旧西宮市立高須東小学校跡地に、本年3月に「ムコダンモール」がオープンしました。

この「ムコダンモール」は、阪神電気鉄道が西宮市から市有地活用事業の事業者を選定され、阪急阪神不動産などと共同で、地域密着型商業施設として開発したものです。本施設は、飲食・物販・クリニック・フィットネスなど幅広い業態の店舗で構成されており、地域の皆様によくご利用いただいています。



阪神電気鉄道の「赤胴車」が地域のコミュニティースペースとして再出発

「赤胴車」の愛称で親しまれ、2020年6月に引退した阪神電気鉄道武庫川線の7890形車両1両が、本年7月より、UR都市機構が管理する武庫川団地(兵庫県西宮市)内のコミュニティースペースとして活用されています。

阪神電気鉄道とUR都市機構とは、2020年3月に地域の交流や活性化を促進するために相互に協力する旨の包括連携協定を締結しており、今回の取組はその一環として行われたものです。



新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施

当社グループでは、新型コロナウイルスの感染対策の一つとして、ワクチンの職域接種を実施しました。

【対象】 グループ従業員およびその家族など、約3万8千人

【期間】 2021年6月21日～10月15日

【会場】 計4会場(近畿圏で3会場、首都圏で1会場)



株主優待のご案内

3月末、9月末時点で100株以上ご所有の株主の皆様へ、以下のとおり、株主優待回数乗車証(阪急・阪神共通回数カード)や株主優待乗車証(全線パス)、グループ各社でご利用いただけるグループ優待券(1冊)をお送りしております。

株主優待回数乗車証および株主優待乗車証

(2021年11月現在)

優待基準株数	株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線パス)
100～199	2回カード×1枚 (2回乗車分)	—
200～479	4回カード×1枚 (4回乗車分)	—
480～999	4回カード×3枚 (12回乗車分)	—
1,000～1,999	25回カード×1枚 (25回乗車分)	—
2,000～6,199	30回カード×2枚 (60回乗車分)	—
6,200～9,799 ※ ①②のいずれかを選択	① 30回カード×2枚 (60回乗車分)	—
	② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚
9,800～15,999 ※ ①②のいずれかを選択	① 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚
	② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚
16,000～199,999	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚 + 阪神電車全線パス1枚
20万以上	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス10枚 + 阪神電車全線パス10枚

株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)



共通回数カードの適用区間：阪急電車線及び阪神電車線全線
(いずれも神戸高速線を除く)

株主優待乗車証 (全線パス)



- ・阪急電車全線パスの適用区間：阪急電車線全線 (神戸高速線を除く)
- ・阪神電車全線パスの適用区間：阪神電車線全線 (神戸高速線を除く)

詳しいご利用方法等につきましては、株主優待とともにお送りしているご利用案内をご覧ください。

グループ優待券

主な内容



沖縄県 石垣島

自然体感展望台 六甲枝垂れ

ホテル阪急レスパイヤ大阪

宝塚歌劇の殿堂

※グループ優待券のご利用範囲については券面をご参照下さい。なお、ご優待内容や対象施設については、予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。

送付時期・有効期限

株主優待については、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送します。
有効期間については、「阪急・阪神共通回数カード」は1年間、その他の優待は半年間です(施設により異なる場合があります)。

グループ優待券 PICK UP!

六甲山上の癒しの場 「ROKKO森の音ミュージアム」の施設入場券

オルゴールなどの自動演奏楽器をコレクションする博物館「六甲オルゴールミュージアム」が、本年7月に「ROKKO森の音ミュージアム」としてリニューアルオープンしました。
館内でオルゴールの展示・演奏を楽しめるのはもちろんのこと、新たに設けた庭「SIKIガーデン～音の散歩路～」では、自然に包まれながら心地良い時間を過ごすことができます。さまざまな「音」と「自然」をお楽しみ下さい。

- 場所** 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-145
- アクセス** 阪神御影駅・JR六甲道駅・阪急六甲駅より
神戸市バス16・106系統に乗車
→六甲ケーブルに乗車→六甲山上バスに乗車し
「ミュージアム前」にて下車
- 電話番号** 078-891-1284



株主メモ

決算期

3月31日

定時株主総会

6月

基準日

- ・定時株主総会
権利行使株主確定日 3月31日
- ・期末配当金受領株主確定日 3月31日
- ・中間配当金受領株主確定日 9月30日

単元株式数

100株

株式のお手続きに関するお問い合わせ先

手続きの内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座(※1)
マイナンバーのお届出(※2)		口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求などの各種お手続き			
特別口座から証券会社の口座への振替請求		—	

※1 2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む)につきましては、特別口座で管理されています。
特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができます。三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせ下さい。

※2 2015年10月以降、市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となるため、株主様から、株式口座開設先の証券会社などへ、マイナンバーをお届出いただく必要があります。マイナンバーのお届出の詳細につきましては、株式口座開設先の証券会社などまでお問い合わせ下さい。